

H19年度総合評価(産業観光課所管施設)

施設名	勤労者センター	文化工房	産業文化センター	
指定管理者名	(財)多治見市事業公社	(株)共栄電気炉製作所	(株)ビーウェル	
指定期間	3年(H18/4/1~H21/3/31)	5年(H18/4/1~H23/3/31)	5年(H18/4/1~H23/3/31)	
設置目的	勤労者の福祉の増進を図るための施設。	ものづくりと人の交流の場の提供を通して、来訪者の誘致を促進し、中心市街地の活性化に資するための工房・ギャラリー。	産業及び生活文化に関する事業の実施及び生活情報等の提供により、産業の振興を図り、市民の生活文化の向上に寄与するための施設。	
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	
	市事業の実施	—	良好	
	自主事業	良好	良好	
施設管理状況	施設管理	良好	良好	
	備品管理	良好	良好	
	その他管理	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	9,360,750	20,829,201	74,896,337
	内利用料金収入	—	2,929,201	12,721,437
	内指定管理料	9,360,750	17,900,000	61,500,000
	支出	8,869,461	20,529,905	67,028,299
	収支	491,289	299,296	7,868,038
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好	
全体的評価	全体的に良好である。	利用者の声に応じた企画展や常設展、他施設と連携したイベント(織部賞)の実施など、工夫・改善がみられる。マスコミへの情報発信を積極的に行い、集客力の向上につながっている。	全体的に適正に管理がされている。ただし、産業文化センターの設置目的を十分に認識し、設置目的に適合するような自主事業を今以上に開催する必要がある。また、施設の利用率を上げるための積極的な取り組みが必要である。	
利用人数・前年度比増減率	延べ24,183人 (前年度比:1.5%増)	延べ16,916人 (前年度比:17.0%増)	延べ73,623人 (前年度比:4.6%減)	
増減の理由	ほぼ前年度と横ばいである。	企画展、常設展等の開催や、マスコミへの積極的な情報提供により集客が増加したと思われる。	イベントプラザの利用率が低い。また、全体の約6割を会議室使用が占めているため、さらなる利用率向上のために大ホールの利用を促進する必要あり。	